

編集後記

★ この世を 謳歌して満開 日本人の好むソメイヨシノ

温暖化にて 100 年後 九州地区では 櫻観不可と危惧種

3 月 24 日に高知・熊本で開花宣言され、櫻前線が北上し、日本列島縦断のスタート開始。三寒四温を繰り返しながら 4 月 1 日には 関西地区でも開花宣言。この世を謳歌するかのよう
に櫻が満開。此処数年 毎年大阪城公園&造幣局にお花見に行っているが「あと何回 独歩い
て 観櫻できるか」と感じる 今日この頃。今年も水上観光船と自分で歩いて散策できて感謝・
感激。大阪・春の風物詩である「造幣局の通り抜け」は初日（4 月 5 日）のため二分咲きで
あった。運よく今年はソメイヨシノと八重桜が同時に観賞できた。約 560 名の並木道に 142 品
種。今年は一品種仲間入り。石川県の天然記念物「火打谷菊櫻」だが蕾硬し状況。最も好きな
櫻は『鬱金櫻』で 咲き始めは淡い黄緑色、散り行く過程で薄紅色へ変化していく為、つつまし
やかな色を讃えて 別名「美人櫻」と呼ばれている品種。

施設入所者も 好天に恵まれた 6 日（日）お花見日和。朝霧小学校校庭を散策。DC ところで
も 稲美町「櫻の森公園」に出かけ観櫻ドライブを楽しまれたとの報告。櫻花を愛で良い思い
出づくりができ喜んでもらえたのではないかな。



〈大阪城公園〉



〈造幣局〉



〈上の丸〉

処が 日本全国で親しまれているソメイヨシノであるが 冬の平均気温が 此処 100 年間で
1.23 度上昇しており、このまま温暖化が進めば“休眠打破”が無くなり、鹿児島では約 30 年
後にはソメイヨシノが咲かなくなるかもしれないと危惧される。そんな中、暑さに強い野生の
櫻「ツクシヤマザクラ」に注目され、代わりに苗木を植えて育ててはどうかという活動も行わ
れ始めた。

★ 119 番通報 動画で状況掌握 明石市消防局 新システム運用開始

2024 年明石市消防局管内において救急出動は 18533 件と過去最多。その内、軽症搬送が
53.2%と報告。特に深夜のタクシー代りの利用は辞めてもらいたいものです。

神戸市・小野市に続き、明石市消防局は 2 月から 119 番通報者にスマートフォンで現場の
様子を撮影、送信してもらうシステム「Live119」の運用を開始。リアルタイムに通報現場を
確認することで、詳細な情報を掌握が可能。また 動画は現場へ向かう部隊にも共有されるた
め、適切な指示を出すことができ、より正しい救命処置や出動体制の効果が期待される。

同システムは位置情報の掌握にも優れており、自転車で走行中、近くに目印のない田圃の畦道
で転倒し、身動きの取れなくなった通報者の早期発見に繋がったケースもあった。現場の状況
を早期に掌握することで活動が正確になると強調している。良い取り組みなので是非全市で
救急搬送の活用時に広めて欲しいものです。

世の中に 絶えて櫻の なかりせば

春の心は のどけからまし

(文責 MMY)